



こまぼんのなるほど!

# みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

## —第29回— コンテナによる物流について

かつて、貨物船の荷役については、現在のガントリークレーンが無かったため、小型のクレーンを使用したり、大型の貨物船については沖合に停泊させ「はしけ」という小型の船に荷物を乗せ替えて陸上まで運搬していました。

そこで、大量の荷物を効率的に、かつ安全に運搬できるようコンテナを専用に運搬する貨物船が、1956年に世界で初めて登場し、1970年代前半には世界の主要な航路がコンテナ化されました。コンテナによる輸送は世界中で飛躍的に増加し、現在では無くてはならない輸送手段となっています。

徳島小松島港におけるコンテナ専用ターミナルとしては、1995年6月に沖洲地区において釜山港（韓国）との定期航路が就航し、2011年3月には赤石地区にその機能を移設しています。



ガントリークレーン

徳島小松島港 赤石地区(撮影：2013年2月)

### 【コンテナの種類】

### 【参考】過去の荷役状況(1964年頃の神戸港)



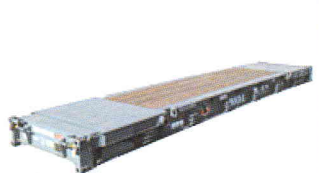
← ドライ・コンテナ



← タンク・コンテナ



← リーファー・コンテナ



← フラットラック・コンテナ



多数の「はしけ」により、沖合に停泊している貨物船から荷物を運搬している状況。

上記のコンテナ等を使用し、重量物や液体、冷凍・冷蔵物、薬品など多種多様なものが運搬されています。(写真提供：㈱商船三井)